

発言No.

13

受付No.

15

令和 3年 6月 10日

10時 17分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 17番

氏名 佐々木 豊治

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1、 第四中学校の統合計画案について

- ① 第四中学校の統合計画案について、令和4年度と5年度に四中に入学する生徒が、令和6年度には、中学生生活の途中から三中に転校しなくてはならないが、特に3年生から転校になると、部活の市総体を間近に控え、また受験も控えている。3年生になったとたん、学校環境が一変することに対し、保護者からは多くの心配の声がある。教育委員会としてはこの問題をどのようにとらえているのか伺う。
- ② 令和4年度と令和5年度に四中に入学する生徒については、四中に入学し、統合時に三中に転校するパターンと、最初から三中に入学できるパターンと、どちらか選択できるようにしてほしいとの声もあるがいかがか。
- ③ 令和4年度、5年度に四中に入学する生徒が、計画通り令和6年度、三中に統合する場合、制服や体操服など必要な備品については無償で対応してもらえることになるのか伺う。

- ④ 令和6年度の統合先を三中ではなく二中を希望する声もあるが、検討課題になるのか伺う。
- ⑤ 浜田市での中学校の統合の際の保護者や学生支援について、過去にはどのような支援が行われてきたのか伺う。

2、市民生活を支える取組について

(1) まちづくりセンターの取組について

- ① まちづくりセンターについて、これまでの公民館とは違い、まちづくりセンターはどのような機能を果たしていくのか、住民にどのようなサービスを提供してもらえるのか教えてもらいたい。また、基本的に提供できる内容は同じでないといけないのではないか、などの声を市民から聞く。まちづくりセンターの設立によって何が変わってくるのか、改めて伺う。
- ② この取組の成果を大きく左右するのが新たに配置されたコーディネーターさんの手腕ではないかと思う。当初は、市で5人を配置とされていたが、計7人の配置となった。そうなった理由とコーディネーターさんの選出基準、そして何をどのようにお願いし働いてもらうのか伺う。

(2) 自治会とまちづくり委員会組織の一本化について

- ① 金城の久佐地区では、まちづくり委員会のなかに自治会を導入し一本化されているということを伺った。たてわけがわかりにくかったが二つの組織で同じようなことをやることもなくなりすっきりしてきたとのこともあり、全市への広がりも今後考えていく必要があるのではと思うが所見を伺う。

(3) 中山間地域の生活支援について

中山間地域振興特別委員会では、様々な視点から提言が行われており、今後の執行部への施策構築に向けた大きな検討材料や、視点になっていくものと思う。

- ① 高齢化が進み、中山間地域では買い物や通院などの移動手段の確保がとても必要性を増している。小国地域では自治会組織で買い物タクシーを始めておられ、先進的な取組とも思うが、その取組内容について伺う。
- ② 高齢者は買い物に出ても荷物になるため、移動販売事業の導入も、なくてはならない事業になっていると思うが導入の考えを伺う。
- ③ 草刈り支援について、これまでも何度も取り上げてきたが、業者さんへの支援を通し、希望される家庭への草刈り支援に取組むべきと思うが所見を伺う。
- ④ また、自治区制度がなくなったり、自治区長の権限がなくなったりで、旧町村の声がますます本庁に届かなくなったのではとの心配の声がある。対応を伺う。